

## 四国・三嶺～オカメ岩避難小屋～天狗塚縦走 泉州労山・大西清見

<日程> (マイカーにて) 11月3日(金) 13:00 大阪ー(阪神高速、神戸淡路自動車道、R32・439)ー  
18:00 三好市名頃登山口(幕営) / 4日(土) 5:00 起床、6:35 登山口出発ー7:25 林道出合ー8:30 ダ  
ケモミの丘ー10:10/10:40 山嶺ヒュッテー10:57 三嶺山頂ー12:20 西熊山ー12:55 オカメ岩避難小屋(泊)  
/ 11月5日(日) 5:00 起床、6:45 小屋出発ー7:30 分岐、荷物をデポー7:50 天狗塚山頂ー8:30 分岐  
ー10:10 林道出合、大西、4人と別れ先に下山ー12:10 林道登山口ー12:25 久保バス停、大西と合流ー  
祖谷温泉に浸かり帰阪 (記録・西本良夫)

<参加者>大西清見、杉村玲子、森朋子、渡辺真悟(N会員)、西本良夫(大阪ポッポ会)

11月3日(金) 午後1時、総勢5名で四国に向けて大阪を出発。目的の山域は久しぶりの三嶺～天狗塚  
縦走、大阪ぽっぽ会の西本さんをお誘いしてコンパクトなパーティとなりました。しかし今回はいつも三嶺  
へ行く高知県側の林道が10月の台風の豪雨の影響で土砂崩壊のために不通となり一時三嶺行を断念と考  
えました。その思案中のところ、ぽっぽ会の西本さんから「徳島県側から行けるのでは？」と連絡を受け、か  
つて一度行ったことのある徳島県側から行ってみることに(好きな高知県側からのこだわりで徳島県側から  
が全く空白でした)。午後、6時過ぎ名頃登山口の駐車場に到着、他にマイカーは6台ほどですすでに三嶺へ  
行っているようでした。駐車場の休憩小屋が空いていたので、その中でテントを張り泊まることになりまし  
た。夕食は杉村さんの特性寄せ鍋、西本さんのぽっぽ会や泉州労山のことなど楽しい交流の夜となりました。

(注) ちなみに三嶺は高知県側では「さんれい」、徳島県側では「みうね」といいます。著者はいつも高知  
県側から行くので、つい「さんれい」と言ってしまう。

11月4日(土) 曇りのち小雨 午前6時35分、登山口(名頃)を出発。ガイドブックに書かれている  
平尾谷川沿いではなく新しい新道の尾根を登りました。ブナ、ミズナラなどの自然林の中、急坂ではありま  
したが良く踏まれた登山道なのでステップも順調でした。約2時間で一帯がウラジロモミの多いダケモミの  
丘へ、この辺りで小雨模様となり雨具を着用。ここから広い尾根の登り坂になり、薄暗かった自然林を抜け  
ると、ようやく前方が明るくなって一気に視界が開けてきました。急な丸太の階段からササと露岩の多い道  
になり、ぐんぐんと高度を稼いでいくのが分かります。もうこの辺りは濃霧で視界は全くありません。巨岩  
が点在するササ原の南斜面を越え、息を切らして長い階段を登ると、突然、目の前に池が現れました。ここ  
はすでに山頂東端の一角で、ガスの中でも地形図からササ原の草原が続いていることが分かりました。右手  
奥の三嶺ヒュッテでしばし休憩、登山者も3パーティほど休んでいました。三嶺ヒュッテから尾根伝いに進  
んで約10分で三嶺山頂(1893m)、残念ながら四国第二の高峰・山頂からの眺望は得られません。風雨も強  
くなり、急いで今夜の宿・オカメ岩避難小屋へ向かう。稜線を西へ下り、ゆるやかにアップダウンする尾根  
を越え西熊山頂上へ。頂上から灌木帯を抜けると一瞬の晴れ間から眼下にオカメ岩と避難小屋が見えました。  
オカメ岩避難小屋は小綺麗で快適、スウェーデン製のストーブを囲んで四国の登山者たちと楽しい交流がで  
きます(13時頃、避難小屋着)。今夜の小屋泊りは約30名、大阪の雑木の会や兵庫労山の方も泊まられて  
いました。森朋子さん特性の野菜サラダとカレーが夕食、「こんな楽しい小屋泊りは初めて…」とぽっぽ会  
の西本さんも調理に参加していました。午後8時就寝、外は一晩中すごい強風が吹き荒れていました。



おかめ岩避難小屋のストーブは快適



快晴の天狗塚（1812m）360度の眺望

11月5日（日）晴れ 5時起床、雲一つない快晴の朝でした。小屋の温度計は2℃、直下の水場付近は凍っていました。朝食を早々と済ませ天狗塚へ、楽しい縦走路が待っていました。オカメ岩から稜線の登路をよじ登るように越えて地蔵の頭へ、この辺りから目指す天狗塚への稜線が美しく伸びています。久保への下山路分岐で荷物をデポして縦走最後のピーク、秀麗な三角錐の天狗塚へ向かう。小さな鞍部を登り返してたどり着いた天狗塚（1812m）、360度の素晴らしい眺めでした。西へは三嶺、剣山、東には石鎚山や赤石山系も確認できました。森さんは地図を片手に「太平洋も見えましたよ」と笑顔、楽しい頂上のひと時はこの日の一番のハイライトでもありました。天狗塚から下山路分岐に引き返し久保集落へ下りました。下りは急な尾根、ダケカンバに囲まれた1476mピークからは自然林に人工林が加わってきました。急坂は落ち葉のじゅうたんで時々、登山路を見失うことも。やがて林道に出たところで、大西は他の登山者のマイカーで先に下山することに。4名は林道を横切り、再び稜線を下って行きました。分れた4名とは約2時間後に久保集落で合流、道中すこし道迷いもあったようでした。ここでも西本さんの読図の検証もあって楽しい地図読みの終盤でゴールとなりました。このあと祖谷温泉（秘境の湯）に浸かって夜遅く無事に帰阪。



天狗塚へも美しい縦走路でした



天狗峠からの急坂は落ち葉のじゅうたん

#### <感想（西本良夫）>

泉州労山さんの山行に参加させていただきとても楽しかったです。おかめ岩避難小屋のマキストーブにはとても癒されました。2日目、360度の景色を見ながらの稜線歩きが素晴らしかったです。所属の会（ぼっば会）と、良い悪いではなく様々な場面で「これはうちと違うな」と感じることもあり新鮮でしたし新しい発見ができました。下山の最後、踏み跡が薄くなりテープを追っていたのですが迷いました。読図の勉強不足と経験不足をまざまざと感じました。みんなで協力して道を探ることができ貴重な体験となりました。これをいい教訓にしてこれからも読図に親しんでいきたいです。